

## コミュニケーションは、まず「あいさつ」から ～2学期始業式～

9月2日(月) 平成31年度 2学期終業式 学校長式辞から抜粋

### 【あいさつ】

4月に着任してからみんなの様子を見ていて、一つ残念なことがあります。それは、「あいさつ」ができない人が多いということです。高校生として、もう少しきちんと自然にあいさつができるようになってほしいと思います。

きちんとあいさつができるのは、大人の常識、社会人としての常識です。あいさつができなければ、「あの人はあいさつもしない、あいさつもできない」と言われ、社会人としての常識を疑われます。職場や地域で、一人前の扱いをしてもらえません。

また、あいさつは人間関係を作るコミュニケーションスキルとして、とても大切です。あいさつだけで終わらずに、質問したり、話しかけたりすることができるようになるための入り口です。

集団生活や社会生活を送る中では、自分の思ったとおりにうまくいかないことや自分一人では解決できないことがたくさんあります。そんな時、ほかの人に上手に相談できることが必要です。完璧というわけにはいかないけど、現段階でここまでできました、よろしいでしょうかと交渉できる。困っています、どうにもなりません、手伝ってくださいとSOSが出せるなど、これもあいさつの先にある大切なコミュニケーションのスキルです。

みんなはよくコミュニケーション力が大切だと言いますが、それにはまずあいさつがきちんとできることです。

### 【 This Time Next Year 】

この夏休みにオーストラリア研修に行ってきました。15人の生徒と一緒に三木高校の交流校、西オーストラリア州パースのワナルー高校に行ってきました。そのときに、ワナルー高校の廊下に掲示してあった英語の言葉がとても印象に残ったので紹介します。

それは、4語の英語で、「This Time Next Year」です。「来年の今頃」という意味です。どれも中学1年生で習う簡単な単語ですが、なかなか意味の深い英語だと思いました。

来年の今頃の自分の姿を想像して、今を過ごす、今をがんばるという意味が込められています。来年の今頃はみんなどうしているのでしょうか。来年の今頃、自分の思ったような充実した毎日が送れるために、今の自分を振り返ることが大切です。

3年生は今、入試に向けて焦る気持ちや不安な気持ちでいっぱいかもしれませんが、来年の今頃は高校を卒業して、将来の夢に向かって次の新しい生活を楽しく送っていると思います。今しんどいかもわかりませんが、来年の今頃を想像して今をがんばりましょう。

2年生は、来年の今頃は三木高校の最高学年として、卒業後の進路実現をめざしていることと思います。1年生は、来年の今頃は三木高校の中心学年として充実した高校生活を一杯送ってほしいと思います。

「This Time Next Year」を合い言葉に充実した2学期にしていきましょう。

(校長 高橋信之)